

令和 6 年第 14 回 須崎市教育委員会議事録

1. 日 時；令和 6 年 12 月 27 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 22 分まで

2. 場 所；須崎市総合保健福祉センター 3 階 研修室

3. 出席者等；教育長：竹内 新

委 員：尾崎 恵子、徳久 和宏、松岡 健夫、岡田 和美

事務局：教育次長 西村 浩司

生涯学習課長 福本 博一

子ども・子育て支援課長 市川 ゆかり

学校教育課長 中西 司

学校教育課長補佐 松本 佐和

1 開会

2 議事録の承認、署名

各委員に対して、配付議事録（案）を確認後に、署名を依頼する。

3 行政報告（教育長から報告）

【市議会の一般質問について】

- ・ 12 月 4 日に市議会の定例会が開会され、19 日に閉会した。
- ・ その中で一般質問では、いくつか大きなテーマでの質問がありそれを共有する。
- ・ 出生数の激減傾向を見据えた今後の更なる学校・保育園の統廃合の見通しを問うもの。
逆に、目の前に迫った中学校統合に反対するもの。「小中学校統合計画」、「保育所統合計画」がそれぞれあるため、執行部からは、それらを踏まえた答弁を行った。
- ・ 大阪・関西万博は危険なため修学旅行の行き先とすべきでない、誰が責任を取るのかといった質問があり、安全対策は取られており、危険とは認識していないこと、取るべき責任は取るといった趣旨の答弁を行った。
- ・ 給食センターの入札をいったん取り下げたための工期の遅れについてや、浦ノ内小学校の放課後子ども教室についての質問があったが、これらに関しては、後ほどそれぞれ担当課長から報告をしてもらう。

【議会で承認された補正予算について】

- ・ 図書館等複合施設のマネージャー委託契約についてのもので、年額にして 741 万円が上限の額となる。
- ・ 複合施設の開館に向け、図書館機能のほか、ホールや会議室、キッズスペースなどの機能を活かせるよう、専門的な知見を持った人物を、次年度当初の着任に向けて、前年度のうちから公募等を進めようというものである。
- ・ 本市で新たに、中学生の海外短期留学事業について、上限の額は 1,118 万円と計上した。現在、高幡広域市町村圏事務組合でもカナダ留学事業を行っているが、それとは別に市の単独事業としても実施しようというもので、夏休み期間中に 10 人の参加人数で考えている。

- ・実施に向けた委託先の選定、内容の調整等のため、今の段階から作業を行おうというもの。
- ・令和 8 年度の中学校統合の際に必要なスクールバスを購入しようとするもので、限度額 920 万 9 千円。納品まで時間がかかることから、前年度のうちに調達手続きを進めようというもの。
- ・これは上分地区で使用するバスだが、一部の議員から、そもそも学校統合に反対なのでバスの購入も反対、との意見があった。
- ・これら全て、議会では賛成多数で認めてもらった。

【浦ノ内中学校での井戸端会議について】

- ・12 月 20 日（金）に、浦ノ内中学校において、「井戸端会議」を行い、市長、副市長、防災課長、元気創造課長に出席をいただいた。
- ・7 月の子ども議会で、「須崎市の現状や課題を身近に感じ、考えていることを市長さんに直に伝える機会を設けてほしい」という希望があったことによるものである。
- ・当日は、3 年生がこれまでに学んだ地域の産業などについての発表の後で、「須崎市で働きます」、「帰ってきます」、「住みます」という観点で生徒一人ひとりの意見が出され、そこに執行部も発言を挟む形で行われた。
- ・廃校後の校舎の活用についても意見があり、総じて生徒の意見は、年齢なりに前向きなものだったと感じた。

【学校統合関連のホームページ掲載について】

- ・学校統合関連の情報が市のホームページ上で散らかっていたため、それを集約し、これまで決まったことと検討中の事項を誰にでも見えるようにした。
- ・学校教育課の「須崎市小中学校統合」の箇所で、「中学校統合の進捗状況」という項目を新設した。

【さいたま市への視察について】

- ・11 月 28 日から 30 日にかけて、細田教育政策プロデューサーも同行し、埼玉県さいたま市の中学校へ視察に行ってもらった。後程次長から報告してもらう。

【教職員の綱紀粛正と服務規律の徹底について】

- ・新聞報道等でご承知のことと存じるが、県内において教職員・教育委員会事務局の不祥事が多発している。
- ・県教委から徹底を求める文書が今年度すでに何度も届いており、先ごろの市の校長会でも、これから年末年始の休みに入るに先立ち、私から校長先生方に要請をしたところである。

4 議事

議案第 49 号	須崎市立図書館管理規則の一部を改正する規則について	可決
議案第 50 号	児童生徒校区・区域外通学許可について（秘密会）	同意

【質疑】

なし

5 その他

【さいたま市先進地視察について】

(徳久委員) ログを取って自分がどこで躓いているのか可視化できるシステムが須崎でもあればいいと思う。

(教育次長) 今後生成A Iを使った授業が出てくる。時期指導要領にも探究的な学びがある。デジタルを使った学びを高知県がはじめるため、須崎も県と共に取り組む予定である。

【図書館等複合施設整備について】

(徳久委員) 蔵書計画のイメージ等はあるのか。

(福本課長) 現図書館の蔵書が 4 万冊あるが、老朽化しているため新図書館に移動できるのは2万冊から3万冊程度。新図書館には9万冊収蔵できるが、6万冊を開架図書とする予定。専門書ではなく、一般的なよく読む本を中心に購入することになるかと思う。

須崎らしさということで海をテーマにしたコーナーを設置しようという計画もある。まずは予算確保を行い、今後コンセプトを検討していく予定となっている。

(徳久委員) これまでのように市民参加型で話し合ってきたように、蔵書計画については職員とコンサルで決めているのか。

(福本課長) 来年施設マネージャーを置くため、そこについて市民の声をどう反映するか、市民対話の会に代わるような本の集め方、ワーキングをするのかを専門の方を雇用するつもりなのでその方の意見を聞きながら進めていきたい。

【給食センター建設について】

(松岡委員) 給食センターが出来れば市内全てにセンター化されるのか。

(中西課長) 最終的にはその予定だが、現在の正規調理職員の配属先を確保するため、3校程度を残す予定としている。

(松岡委員) 給食センターは委託となるのか。

(中西課長) 調理と配送は委託とする予定。栄養教諭が献立作成、食材発注を行う。

【学校統合に関して】

(尾崎委員) 校区外の申請も多く出ているが、学校として残った学校は機能するのか。

(教育次長) 学校行事、教員の人数について難しいものがある。極小規模の学校を経験した教員がいるのか、集団行動で児童生徒に力をつけるということができないため教育課程上どのような手立てを行っていくのかという課題はあるため準備を整えていかなければならない。

(教育長) 教員数の配置も少なくなるため、校務分掌についても課題がある。議会でも小規模校でも学校が運営できるよう体制整備をしてほしいとの質問も出ていた。

(松岡委員) 小学校の統合予定はどうなっているのか。

(中西課長) 中学校の統合後3年と計画しており、令和11年予定となっている。

(松岡委員) 南小学校がその年より早く統合ということになるのか。

(中西課長) 入学生がいなければ休校という検討も必要となる。

【浦ノ内地区の放課後の居場所について】

【教育委員より】

(松岡委員) 教員の時間外勤務について新聞報道にもあったが、須崎市の教職員の時間外勤務はどれくらいなのか。

(教育長) 次回報告させていただく。

6 閉会

次回の定例委員会を令和7年1月24日(金)午後1時30分から開催することを確認し、閉会となる。